

令和4年 5月臨時会、6月定例会

福井県議会だより

第37号

審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください



臨時会・定例会の概要

5月12日に臨時議会が開かれ、大森哲男議員を第104代議長に、小堀友廣議員を第109代副議長に選出するとともに、常任委員会委員等の選任を行いました。また、知事提出議案が上程され、監査委員の選任に同意するとともに、福井県県税条例の一部改正等、専決処分の承認を行いました。

6月定例会は6月13日に開会し、7月6日までの24日間にわたって審議を行いました。開会日には、知事からコロナ禍における原油価格・物価高騰対策等の補正予算案等11件の議案が提案され、提案理由の説明を受けました。

今定例会では、長引くコロナ禍やウクライナ情勢を背景とする物価高騰による県民生活や経済への影響と対策について、活発な議論が交わされました。また、北陸新幹線について、来年度当初の敦賀以西の着工に向け、来年度への要望活動や関西圏との連携についてたずと

ともに、令和6年春の県内開業効果を最大化するための福井駅周辺整備等の状況や、開業後のにぎわい創出拠点となるアリーナ整備構想の実現に向けた課題や県の支援の在り方について議論が行われました。

そのほかにも、地域鉄道の維持・活性化、原発立地地域の将来像、観光需要喚起策、障がい者福祉政策、福井空港の機能強化と利活用促進等、県政全般にわたる広範な議論が行われました。

このような審議を経て、閉会日には、追加上程された福井海区漁業調整委員会委員の任命同意に係る議案1件を含めた知事提出議案12件を可決または同意し、請願2件についても採決を行うとともに、県議会ICT化推進のため、議員から提案された「福井県議会基本条例の一部を改正する条例案」および「福井県議会委員会条例の一部を改正する条例案」の2件を可決し、今定例会に付議された案件の審議を終了しました。

新議長・新副議長インタビュー

◎就任にあたっての抱負をお聞かせください。

大森議長：コロナ真っただ中での就任ではありますが、対面での会議が再開するなど世の中も少しずつ平常に戻ってきているように感じています。

いよいよ新幹線も開業まで2年を切り、準備しなければならないことが多くありますが、緩急軽重を見極めて取り組んでいきたいと思います。また、来年度の予算の中に敦賀以西の予算を政府に盛り込んでもらうため、この夏が正念場であると、副議長といつも話をしています。



左：大森議長、右：小堀副議長

小堀副議長：副議長の自覚と誇りをもって議長を支え、行動したいと思っています。また、北陸新幹線県内開業を控えて観光、産業、福祉、教育の新しい福井県を目指したいと思っています。

◎県政の目指す姿はありますか。

大森議長：知事は徹底現場主義を掲げておられますが、我々議員はより近いところで県民に寄り添いながら、知事の目の届かないところや拾いきれない意見を議会へ反映させて、徹底現場主義を現実のものとしていきたいと思っています。

小堀副議長：地元の小さな声を聴いてそれを増幅し、県政へ伝える、アンプとスピーカーの役をやっていききたいと思います。

◎休日の過ごし方やストレス解消法をお聞かせください。

大森議長：まちづくりの活動をとおして若い学生さんと話をすることがとても楽しいです。

また、空き時間を見つけてサウナに行くことが好きです。今はコロナの影響で営業しておらず、全く行くことができていないので、再開を楽しみに待っています。

小堀副議長：毎朝、三方五湖の周りを自転車で行くことがストレス解消法です。時間がある時は1時間半くらい、15km～20km程度走っています。朝の空気は気持ちがよく、ここに生まれた喜びを感じます。



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

代表質問

福井県議会だより 第37号 | 3

自民党福井県議会 仲倉 典克 議員



知事の政治姿勢について

- ・知事の任期最終年度に対する想いを伺うとともに、北陸3県をリードすべき一番の「先輩」となった知事の政治家としての意気込みを伺う。
- ・北陸新幹線の整備促進に関し、敦賀以西の整備については今まさに山場を迎えているが、令和5年度当初の着工に向けた県の戦略について、知事の所見を伺う。

自民党福井県議会 清水 智信 議員



新型コロナウイルス感染症対策について

- ・県内における第6派の状況をどのように分析・検証し、その結果を今後の保健・医療体制にどのように反映させていくのか、知事の所見を伺う。

産業行政について

- ・福井経済新戦略の評価ビジョンと新ビジョン策定に向けた検討課題を伺うとともに、今後の本県産業の将来像に対する知事の見解を伺う。

民主・みらい 渡辺 大輔 議員



知事の政治姿勢について

- ・原油および原材料価格の高騰が続く中、県内の中小・零細企業や個人事業者の経営環境をどのように認識しているのか伺うとともに、現状への支援にとどまることなく、将来を見据えた企業の経営力強化への支援策について、知事の所見を伺う。

福祉行政について

- ・障がい者支援の充実・強化について、現在18歳までの医療的ケアが必要な重症心身障がい児に対して行われている県の独自支援を、18歳以上の重症心身障がい者にも引き続き提供するよう強く求めるが、所見を伺う。

一般質問

自民党福井県議会 田中 三津彦 議員



- ・県立大学恐竜学部（仮称）の開設に向けて
- ・市町の防災体制
- ・「都会が嫉妬する県」、素晴らしい!!でも…
- ・国土強靱化に関連して

橋などのインフラの長寿命化は、安全安心な生活を担保する重要な施策です。

自民党福井県議会 山本 建 議員



- ・アリーナの整備とサンドーム福井の活性化
- ・総合型地域スポーツクラブにおける県有施設の利用
- ・福井県自転車の安全で適正な利用に関する条例
- ・有機農業の普及促進
- ・再生可能エネルギーの導入目標

初心を忘れず、県民目線で質問しました。

自民党福井県議会 島田 欽一 議員



- ・海岸漂着物への対策
- ・大河ドラマや映画を通じた観光誘客
- ・瓦屋根の安全対策、越前瓦の利用促進

海岸漂着物対策をしっかりとってください。

自民党福井県議会 田中 宏典 議員



- ・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議
- ・原子力・エネルギー政策

早期に原子力・エネルギー政策を明示し日本の原子力、県民の安全・安心を守れ!

一般質問

日本共産党福井県議会議員団 佐藤 正雄 議員



- ・「戦争か平和か」の岐路と原子力行政
- ・アベノミクス失政での円安と物価高騰
福井県の産業と県民の暮らしを守る施策を
- ・県民鉄道「ハピライン」への期待と不安
にどうこたえるのか

物価高騰・年金削減で暮らしは大変だ。
年32万円余の特別障がい者手当の周知を。

民主・みらい 野田 哲生 議員



- ・パートナーシップ宣誓制度の導入
- ・中学校の校則
- ・市街地再開発支援事業
- ・独自アンケートからの考察

パートナーシップ制度の導入と中学生が
自主的に校則見直しができる制度確立を！

民主・みらい 北川 博規 議員



- ・コロナ特例貸付金返済における困窮者
への支援
- ・医療的ケア児者のコロナ対応
- ・教員の時間外勤務の実態と今後の取組
- ・部活動地域移行の状況と今後の計画

すべてが県民から付託された問いです。
今後も正しく誠実に訴えていきます。

自民党福井県議会 兼井 大 議員



- ・子ども達が創り手となる社会
- ・地域別の将来像

大野市の六呂師高原と勝山市の長尾山総合
公園など奥越の観光誘客について質した。

自民党福井県議会 松崎 雄城 議員



- ・地方鉄道
- ・福井の魅力発信
- ・子育て支援

地方鉄道の新たな活用、福井のコンシ
ェルジュ育成、女性支援を提言しました。

自民党福井県議会 山浦 光一郎 議員



- ・駅前再開発
(1) アリーナ構想と周辺交通環境
(2) 養浩館周辺と福井城址復元
- ・ウクライナからの避難者への支援
- ・エネルギー供給拠点としての福井と共創会議

新幹線開業を控え、福井駅前活性化に
引き続き取り組みます！

公明党 西本 恵一 議員



- ・物価高騰から県民生活を守る経済対策
- ・面会交流の促進
- ・協同労働
- ・普通科系高校魅力向上
- ・健康福祉

離婚して別居した親と子どもが交流する
面会交流は子どものためにあります。

自民党福井県議会 小寺 惣吉 議員



- ・異常気象への対策
- ・農家対策
- ・そばの振興
- ・北陸新幹線開業
- ・原油価格・物価高騰対策

異常気象に耐えられる河川対応。足羽川ダム
の役割と田島川への入水制限対策の構築。

無所属 細川 かをり 議員



- ・物価高騰と県民生活
- ・整理整頓、メンテナンス
- ・製粉など6次化産業
- ・学校現場のこと
- ・原子力行政

過疎集落の現状・海外由来の海岸ゴミ
対策など、今ある課題を投げかけました。

自民党福井県議会 長田 光広 議員



- ・エネルギー政策
原子力発電所関係、水素生産と活用、
(FCV) 促進、産総研との連携と新産業
- ・農業政策

豊かな日本はどこに。物価高・電力不足・
コロナ。なんとかせねばなりません。

◆本会議・委員会の傍聴のお知らせ

本会議の傍聴は、当日の先着順です。議事堂2階の傍聴席入口前で傍聴券を受け取り、入場してください。
傍聴席には、質疑等の内容を文字データでお知らせするモニターを配置しています（代表質問および一般質問）。

委員会の傍聴は、各委員会開催日の3日前（土・日・祝日を除く）の正午までに申込みをしてください。傍
聴希望者が定員を超えたときは抽選となります。

詳細は、福井県議会のホームページをご覧ください。 HP : <https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/>



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

予算決算特別委員会

福井県議会だより 第37号 | 5

自民党福井県議会 齊藤 新緑 議員



- ・少子化対策

農業、食品添加物、ワクチン等による
少子化問題、異常な超過死亡数の原因

無所属 鈴木 宏治 議員



- ・定時制・通信制高校の今
- ・障がい福祉計画の改定

定時制・通信制高校について質疑しました。
福祉面のサポートが必要です。

自民党福井県議会 西本 正俊 議員



- ・全拉致被害者の即時一括帰国を求める
国民大集会に参加して
- ・出水期における防災力の向上
- ・共創会議

北朝鮮による拉致事件を風化させない
ための県の取組について知事に質した。

民主・みらい 西畑 知佐代 議員



- ・県政全般

県の施策として、何に重点を置いて企業
の女性活躍を進めていく方針なのか。

自民党福井県議会 松田 泰典 議員



- ・県政全般

コロナ対応、物価高騰対策、北陸新幹線
敦賀開業後の整備等について質問！

予算決算特別委員会では、田中 宏典 議員、野田 哲生
議員、田中 三津彦 議員、清水 智信 議員も質問を行って
います。

代表質問、一般質問を行った議員は、この欄には掲載
していませんが、審議の様子は、議会ホームページか
らYouTubeでご覧になれます。

Facebookでも情報発信しています！



福井県議会
@fukui_kengikai

議会の日程や会議内容のほか、
議長の公務や議員連盟の活動
内容などを幅広く情報発信して
います。

ぜひご覧いただき、いいね！や
フォローをお願いします！



[県議会Facebook]

URL : <https://www.facebook.com/fukuikengikai/>



◆9月定例会 会期日程予定

9月 5日(月)	開会
9月 8日(木)	代表質問
9月13日(火)・14日(水)	一般質問
9月16日(金)	常任委員会(総務教育)
9月20日(火)	常任委員会(厚生)
9月21日(水)	常任委員会(産業)
9月22日(木)	常任委員会(土木警察)
9月28日(水)・29日(木)	予算決算特別委員会
10月 4日(火)	閉会

◆新人議員を紹介します

議員の辞職に伴う福井県
議会議員補欠選挙(あわら
市選挙区)が7月1日に告示
され、笹原 修之氏が無投票
で初当選されました。



任期は令和4年7月13日から令和5年4月
29日までです。

総務教育常任委員会

「福井県手数料徴収条例の一部改正について」、「福井県県税条例の一部改正について」、「福井県議会議員および福井県知事の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正について」の3議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、「福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」について、嶺南選出議員にも出席を求め質疑を行うとともに、「北陸新幹線敦賀以西」、「県都グランドデザインの骨子案」、「県職員の定年引上げおよび定員管理」、「部活動の地域移行」、「県立高校の魅力化」等について議論しました。



第4回共創会議の様子

厚生常任委員会

「福井県立病院使用料および手数料徴収条例の一部改正について」および「県有財産の取得について」の2議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、「原子力発電所の防護」、「ツキノワグマの出没対応訓練」、「生活困窮者への支援」、「新型コロナウイルス感染症対策」について質疑を行いました。このほか、「海岸漂着ごみへの対応」、「へき地診療所の状況」、「ドクターヘリの運航状況」等について議論しました。



クマ対策現地集落勉強会

産業常任委員会

「福井県六呂師高原スキー体験施設の設置および管理に関する条例の廃止について」などの3議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

また、請願の審査も行い、「『水田活用の直接支払い交付金』の見直しの中止を求める意見書提出に関する請願」、「インボイス（適格請求書）制度の中止を求める意見書提出に関する請願」について、不採択と決定しました。

所管事務の調査では、「観光促進事業」、「アリーナ構想」、「産業総合研究所『北陸拠点』」、「融資の条件変更」、「県産材のあふれる街づくり事業」、「スマート農業のGPS活用」等について議論しました。



スマート農業実現に向けたGPS基地局県全域設置

土木警察常任委員会

「損害賠償額の決定および和解について」審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、「福井空港の利活用」について調査を行うとともに、「敦賀港のクレーンの整備」、「福井縦貫線の道路拡幅に伴う都市計画の変更」、「道路、河川、海岸のゴミ対策」、「原子力施設警備隊」、「運転技能検査および運転免許証自主返納」等について議論しました。



現在の福井空港



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

予算決算特別委員会

福井県議会だより 第37号 | 7

本委員会に付託された令和4年度福井県一般会計補正予算などの2議案について審査を行った結果、原案のとおり可決しました。審査の過程であった主な質問や意見は次のとおりです。

○物価高騰対策について

コロナ禍からの世界経済の回復とウクライナ情勢を背景とする物価高騰による県民生活への影響と中・長期的な視点での対応策についてただしたのに対し、「全国の5月の消費者物価指数は4月に引き続き前年同月比2%を超えており、県の独自調査でも、特に食料品や日用品の値上がりが続いていることから、県民生活に影響を与えていると認識している。今定例会に緊急的な支援策を提案しているところだが、長期的には、事業者が利益を確保しながら価格転嫁し、賃上げに結びつけることが必要であり、経済団体とともに取引の適正化に取り組み、物価高騰に対して次の循環が来るような対策を講じていきたい」との見解が示されました。

また、ひとり親世帯に対する現状の支援策と物価高騰による影響についてただしたのに対し、「これまでの給付金支給に加え、住居費用の貸付制度を創設し、生活安定を支援しており、物価高騰に伴う相談は増えていない状況である。一方、給付金支給は一時的なものであり、問題は非正規雇用の多さや賃金の低さにあるとの意見もあり、さらに当事者や経営者から意見を聞いていきたい」との見解が示されました。

○北陸新幹線整備及びローカル線の存続について

北陸新幹線敦賀以西の整備について、今が正念場であることから、関係者が一丸となった要請活動等今後の具体的なスケジュールについてただしたのに対し、「敦賀以西の着工は、今年の夏の概算要求、年末の来年度当初予算編成が大きな山場であり、精力的に国へ働きかけを強めている。また、関西における機運の醸成が非常に重要であり、関西広域連合とともに進めていきたい。その上で政府・与党に対し、県議会もしくは沿線府県議会協議会といった皆様とともに、強く訴えていきたい」との見解が示されました。

また、地域鉄道の維持・活性化に関して、改めて国の積極的な関与、必要な財政支援や法制化を含めた対応を求めることが重要であるとただしたのに対し、「政府の骨太の方針において、地域鉄道について法の整備や実効性のある支援も打ち出されている。県としても、国による関与、財政支援の強化について県議会とともに国に強く訴えていきたい」との見解が示されました。

○観光施策について

全国を対象とした観光需要喚起策に合わせた県の独自支援策について、本県が観光旅行先に選ばれるような施策になっているのかただしたのに対し、「ブロック単位で実施している『ふくいdeお得キャンペーン』について、子ども1人1泊について1,000円のクーポン券を配付したり、団体ツアーで県内の観光バスを利用した方に割引を適用したりするなど、国が行うキャンペーンに上乗せして、実施していきたいと考えている」との見解が示されました。

また、10代の「ふく割」の登録者数が全体の4%にとどまっている現状を踏まえ、若い世代がサービスを受けやすいようにしてほしいとただしたのに対し、「『ふく割』について、発行時間の追加、5,000円以上買った場合などの利用金額の引き下げ、理美容や雑貨店の参加等により若者が使いやすいようにしていきたい」との見解が示されました。

○アリーナ構想について

福井市の東公園が候補地とされているアリーナの整備について、アリーナ単独で収支を考えるのではなく、アリーナとセットで、安定した収益が見込める民設民営施設の配置を福井市や経済界と協議する必要があるのではないかとただしたのに対し、「人を集める場所ができれば、街ににぎわいができてきて、それが街全体に広がり経済効果は大きい。アリーナだけに人が集中することになると、周辺への効果が限定的になるため、既存の街とアリーナがウィンウィンになれるような形が必要と考えている」との見解が示されました。

また、アリーナ整備の実現に向け、県として現在認識している課題と対応方針をただしたのに対し、「昨今の物価上昇や資材不足等による建設単価の上昇、周辺の住宅に対する交通渋滞や音漏れ等への対応が課題であり、課題解決に向けた検討を経済界と進め、民設民営のメリットを最大限に活かせるよう、市とともに支援を考えていきたい」との見解が示されました。

○福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議について

共創会議に関するこれまでの議論を踏まえ、福井県の原子力発電所の今後の在り方についてただしたのに対し、「原子力の方向性がどちらに向いているのか、規模がどの程度なのか、さらにはそれに至る道筋をどうするかを国が明確にすることが大切である。国には新增設・リプレースを含めて、原子力政策を更に明確にするよう、いつまでも議論を続けるようなことをしないで、覚悟を決め早急に決断するよう強く求めていく」との見解が示されました。

また、共創会議の「将来像の実現に向けた基本方針と取組」と嶺南Eコースト計画との関係性や計画の見直しについてただしたのに対し、「『将来像の実現に向けた基本方針と取組』は、国や事業者が独自に行うものが多く入っており、さらにEコースト計画の中の国や事業者が実施する分を取り込んで、非常に大きな枠組みになっている。全てをEコースト計画に書き込むというよりは、共創会議が進行し具体化したら、Eコースト計画の毎年の実行プランに位置づけていくのが現実的と考える」との見解が示されました。

次に、アクセスの向上による企業の誘致など、北陸新幹線敦賀・大阪間開業の効果を産業にも最大限活かせるよう共創会議の場で議論することを求めたのに対し、「『将来像の実現に向けた基本方針と取組』は、北陸新幹線の京都、大阪までの延伸により関西圏が嶺南地域の商圈や生活圏となるという観点から書かれており、また、関西圏のバックアップ拠点として、データセンターやIT産業を集積していく取組等が盛り込まれている。国は、今後も必要に応じて新しい取組を追加していくとしていることから、共創会議において、新幹線開業の効果をより産業に活かすことのできる提案を行ってほしい」との見解が示されました。

このほか、企業の女性活躍促進、原子力発電所の安全確保、拉致問題解決への取組、ヤングケアラーへの支援、少子化対策、福井駅東口の活性化、福井空港機能強化と利活用促進、定時制・通信制高校の在り方等広範多岐にわたり、理事者の見解と対応をただしました。

令和5年度末の北陸新幹線福井・敦賀開業まで2年を切る中、北陸新幹線の早期全線整備を目指す沿線議会において大きな動きがありました。

沿線府県議会協議会の新会長に就任

「北陸新幹線建設促進北信越五県議会協議会」は、沿線の北信越五県議会（長野、新潟、石川、富山、福井）で構成され、平成9年の設立から四半世紀にわたり一丸となって強力な運動を展開してきました。

特に昨年度からは、令和5年度当初の敦賀以西の着工に向け、大阪延伸の早期実現を見据えた活動を更に強化するために、京都府議会と大阪府議会に対し協議会への参画を働きかけてきたところ、大阪府議会が参画の意向を固め、今年5月24日に開催された理事会において正式に了承されました。これに伴い、協議会の名称も「北陸新幹線建設促進沿線府県議会協議会」に変更し、新会長に福井県議会の大森議長が就任しました。会長就任にあたり、大森議長は「大阪府議会の参画は大変喜ばしく、心強い。」と歓迎するとともに、「敦賀以西の整備については、ヤマ場を迎えており、これまで以上に沿線議会が一丸となった活動が重要。」と述べました。また、大阪府議会の森議長からは、「リニア中央・北陸新幹線の早期全線開業実現を目指し、昨年12月に超党派の議員連盟が設立された。」と関西圏での機運醸成が大いに期待される力強い発言がありました。

理事会終了後は、福井県知事が会長を務める「北陸新幹線建設促進同盟会（以下同盟会）」等とともに国への要請活動を行い、令和5年度末の県内開業の確実な実現と、令和5年度当初の敦賀以西の着工に必要な予算計上を強く求めるとともに、大森議長は「沿線府県議会協議会としても敦賀までの整備で培ったノウハウを最大限生かしながら、関西との連携をより一層深め、敦賀以西の早期着工・完成に最大限努力していく。」と意欲を示しました。

沿線府県議会協議会では、この後も同盟会と協力し7月15日に関係省庁への要請活動を行っており、今夏の概算要求や年末の政府予算案決定までの間、1日も早い全線開業に向け同盟会と足並みを揃え、様々な機会を捉えながら積極的に整備促進運動を進めていきます。



5/24 沿線府県議会協議会理事会



5/24 北陸新幹線建設促進大会

新幹線議連で現場視察

北陸新幹線県内開業に向け、「あわら駅」「福井駅」「越前たけふ駅」の3駅舎が年内には完成し、当面の間終着駅となる敦賀駅は来年秋には完成する見込みとなっています。新型コロナの感染や資材費高騰による工事への影響なども懸念されているため、新幹線駅工事の進捗状況を確認しようと、超党派による福井県議会北陸新幹線促進議員連盟が、5月25日に福井駅と敦賀駅の工事の現場を視察しました。

現場では鉄道・運輸機構の担当者から、工事の概要や各駅の特徴について説明があり、いずれの駅舎においても工程に遅れがないことを確認しました。



福井駅現場



敦賀駅現場

「福井県議会だより」へのご感想をお聞かせください。

福井県議会ホームページの「福井県議会だよりアンケート」のページから、ご感想、ご意見を願います。



発行 福井県議会広報会議

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

福井県議会 議会局総務課

電話：0776-20-0605 FAX：0776-20-0674

HP：https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/

Facebook：https://www.facebook.com/fukuikengikai